

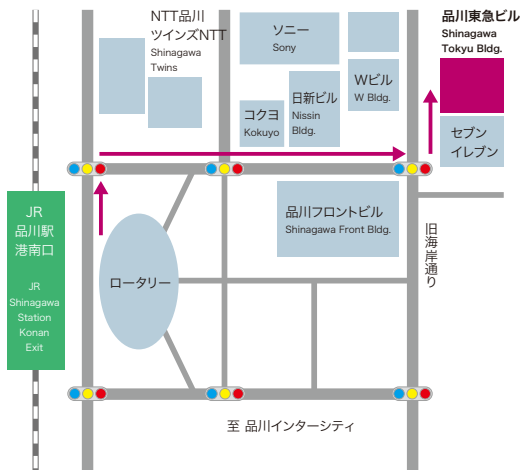
# From Sentinel

## 本社移転のお知らせ

このたびは日本セーフネット株式会社は、2016年3月22日(火)より、本社を下記住所に移転しました。皆さまにより一層ご満足いただけるサービスを提供できるよう努めてまいります。今度とも変わらぬご愛顧を賜りますようお願いいたします。

新所在地:

〒108-0075 東京都港区港南一丁目6番31号  
品川東急ビル5階  
(JR品川駅港南口より徒歩5分)  
新電話番号: 03-6744-0220(代表)  
新FAX番号: 03-3474-8162



お客様とGemalto Sentinelを結ぶ、ニュースマガジン

# Sentinel News Vol.2

News & Trend

Products & Solutions

Case Study

Event

From Sentinel

# News & Trend

## ジェムアルトが調査結果を公開 「The State of Software Monetization」

～売り上げ向上のための、柔軟なライセンスング～

およびパッケージングソリューションとは～

顧客企業のニーズの変化に絶えず適応する必要があるソフトウェアベンダーおよびインテリジェントデバイスメーカーにとって、売り上げ向上のためには、柔軟なライセンスングおよびパッケージングソリューションが求められます。

ソフトウェアをイメージどおりに使用し、使用量のみに応じて支払う。これは理にかなっていますが、ソフトウェアを使いやすい形で提供することは「言うは易し」です。

ISVの最大の課題は、ライセンスの管理や更新にかかるコストだけでなく、そうした業務にかかる時間もあること。

さらに、もう1つ懸念されているのが、ライセンスのコンプライアンスにまつわる問題です。対処にあたっては、自社のプロセスや監査の透明性を高めながら、ソフトウェア利用状況のトラッキングを強化すべきでしょう。ISVへの期待が最高潮に達している中で、ビジネスの成功を続けるにはソフトウェアの将来性の確保をしっかりと検討しておくことが必須となると、この調査レポートでは示唆しています。



## Frost & Sullivanが ジェムアルトをマーケットリーダーとして評価

Frost & Sullivan社が半年ごとの「グローバルソフトウェアライセンス管理市場の競合分析」を発表。同分析で、ジェムアルトは2015年のソフトウェアライセンス管理 (SLM) における圧倒的なマーケットリーダーとしての評価を再度獲得しました。その理由は、グローバルで広く採用・信頼されているSentinel製品ラインの提供にあるとしています。

SLMによって、ソフトウェアパブリッシャーやインテリジェントデバイスのベンダーは、特にエンタープライズ環境やネットワーク環境において自社製品の収益化をより効率的に行えます。この分野のソリューションは、開発者がエンタイトルメントを施行し、保護、ライセンスング、利用状況のトラッキング、監査などのバックオフィスシステムの自動化に役立っています。

ジェムアルトでは、ソフトウェアライセンスングの最先端を走り続けるために、市場をリードする信頼性の高いソフトウェア収益化技術を引き続き提供してまいります。



## IoTにおける不正手段の排除

今日、あまりにも多くの企業がIoTを盲目的に信頼しており、環境の複雑度が高いためにアプリケーションがしっかり保護されると思い込んでいます。ハッカーは、この状況を利用しており、状況は、まったく楽観できません。

こうしたセキュリティ上の脅威はどの程度広まっているのか。また、企業は自社を守るために何ができるのか。ジェムアルトのソフトウェア収益化部門バイスプレジデント兼CTOであるMichael Zunkelは、次のように説明しています。

「残念ながら、脅威は多くの企業が自ら認めるよりもはるかに一般的なものとなっています。実際、IoTデバイスが市場に投入されるたびに攻撃を受ける可能性が生じ、そのデバイスが不正利用やリバースエンジニアリングといった脅威にさらされることとなります。こうした脅威を完全になくすことは不可能ですが、軽減する方法はあります。たとえば、ソフトウェアを暗号化すれば、デバイスへのアクセスを権限を持つ担当者に限定することができます。そして、IP保護を採用すれば、非常に重要なコードのリバースエンジニアリングを防ぐことが可能です」

# Event

## 日本マイクロソフト主催「de: code 2016」出展 ～ソフトウェアライセンス管理をデモ～

日本マイクロソフトが主催する「de:code 2016」が、2016年5月24日・25日の2日間にわたって開催されました。これは、マイクロソフトの方向性と最新情報はもとより「クラウド」「モバイル」を最大限に活かすテクノロジーを、ITエンジニア紹介するイベントです。日本セーフネットは、クラウドやIoTにおけるすべてのソフトウェアの不正使用、ハッキング、不正アクセスによる改ざん、そして、リバースエンジニアリングなど、ネット上の脅威やセキュリティ侵害からの保護を実現するソリューションとそのデモを紹介しました。



# From Sentinel

## Gemalto.comでお客様の声のページを公開

お客様がジェムアルトソリューションのご経験を共有する場である、お客様の声のページを公開しました。ここでは、一連のプレゼンテーション、お客様の声、ブログ投稿、ケーススタディのすべてを1カ所でご覧いただけます。世界中の何万社ものお客様がソフトウェア収益化に関してSentinelを信頼しているその理由を、ぜひご自身の目でご確認ください。



<公開中の企業>

Stryker社/Trimble社/  
HP社/Viavi社/Zemax社



<http://www2.gemalto.com/Sentinel-Customer-Testimonials/>

# Case Study

## Trimble社におけるライセンスングの発展

高精度GPSツールの一流メーカー、Trimble Navigation社。以前のライセンス管理システムはあまりにも複雑化したため、50万件近い資産を所有する当社にとって、お客様ニーズに応えられないという問題がありました。そこで、Sentinel LDKとEMSを導入。幅広いライセンスや接続のオプションへ対応していること、そして、マシンのオペレーターが必要な本番環境のデータを簡単に入手できることにより、必要に応じて製品やサービスを調整できるようになりました。また、過去には、仮想マシンのイメージ複製、アクティベーションコードのクラッキング、プロテクション

キーの複製といった違反行為のために、何百万ドルものコストがかかっていましたが、Sentinelソリューションによって、将来の違法行為から自社のビジネスを守ることができるようになっていきます。

同社マーケティング担当ディレクターのBill Graber氏は、Sentinelがもたらしている価値について、次のように語っています。「当社は、Sentinelのカスタマイズされた最適なライセンス配布プラットフォームのおかげで大規模な建設プロジェクトを安全に推進できるようになりました。このことに非常に感謝しています。ジェムアルトが競争力を維持できるように支援してくれなかったら、これほど自信を持ってトップレベルの業務を行うことはできなかったと思います」



# Products & Solutions



## 新製品『Sentinel Fit』が登場

Non-OS環境に対応した新しいライセンスソリューションSentinel Fitをリリースしました。

- 極小フットプリント – Flash 34KB、RAM 13KB
- ソースコードによる提供 – 高いポータビリティを実現
- ライセンスの署名には RSA 2048 を採用 – 高い耐タンパ性能を発揮
- デバイス固有のIDを使用したノードロックが可能
- ソフトウェアの機能単位で永久または期限付きライセンスが可能

## Sentinel LDK 7.4『映像コンテンツの保護』に対応

Sentinel LDK 7.4をリリースし、新機能の追加と機能改善を実施しました。

- 映像コンテンツのプロテクトに対応 (ファイル形式: flv、swf)
- 新製品 Sentinel HL Drive microSDキーをサポート
- AppOnChip パフォーマンスプロファイラ機能を追加
- HLハードロックコンフィグレーションキーを、ドライバレスコンフィグレーションに変更するツールを追加
- Vendor Tools、ランタイム環境のWindows 10正式サポート

## Sentinel LDK Embedded 7.3 for Linux ARM をリリース



Sentinel LDK のエンベデッド向けライトウェイト版であるSentinel LDK Embedded 7.3 for Linux ARM をリリースし、新機能の追加と機能改善を実施しました。

- Sentinel HLドライバレスコンフィグレーションキーをサポート
- ハードフロートEABI をサポート
- Linux ARM対応 Envelopeをリリース(オプション)
- ARM EABIHF アーキテクチャ用 Ubuntu, Debian, Raspbian (Raspberry Pi-2) をサポート
- ARMv7-a プロセッサ互換のハードウェア/ボードで利用可能 (BeagleBoard-xM Rev C, BeagleBone Black, Raspberry Pi-2, PandaBoard ES Rev B3 にて動作確認済み)

## ネイティブバイナリのプロテクションに対応した Sentinel Envelope 3.0 for Androidをリリース

Sentinel Envelope 3.0 for Androidをリリースし、新機能の追加と機能改善を実施しました。

- ネイティブバイナリ(Shared Objects/Services) のプロテクションをサポート
- インポートテーブルの保護
- バイナリを暗号化
- soft-float / hard-float ABI サポート
- BFD と Gold linkerをサポート
- ARM v7-a、ARM v8-a、x86 / x86\_64 環境をサポート
- Android version 4.x / 5.x / 6.x をサポート
- multi-dex apk のプロテクションをサポート



## Sentinel RMS 9.0

### 新たにクラウドライセンスをサポート

Sentinel RMS9.0をリリースし、新機能の追加と機能改善を実施しました。

- クラウドベースのライセンスをサポート
- 新仕様Unified API を採用
- Windows 10 正式サポート



## クラウドライセンス対応で

### ユーザー利用状況の『見える化』を実現

Sentinel EMS 4.0をリリースし、新機能の追加と機能改善を実施しました。

- RMS 9.0 クラウドベースのライセンスをサポート
- 利用状況レポートなど、新たなレポート機能の追加
- クラウドベースのライセンスの追加に伴うWebサービスの追加
- 端末のフィンガープリント登録機能を追加
- ユーザーインターフェースを大幅改善

その他の資料は、こちらよりダウンロードいただけます。 <http://www.safenet-inc.jp/resources-jp/>